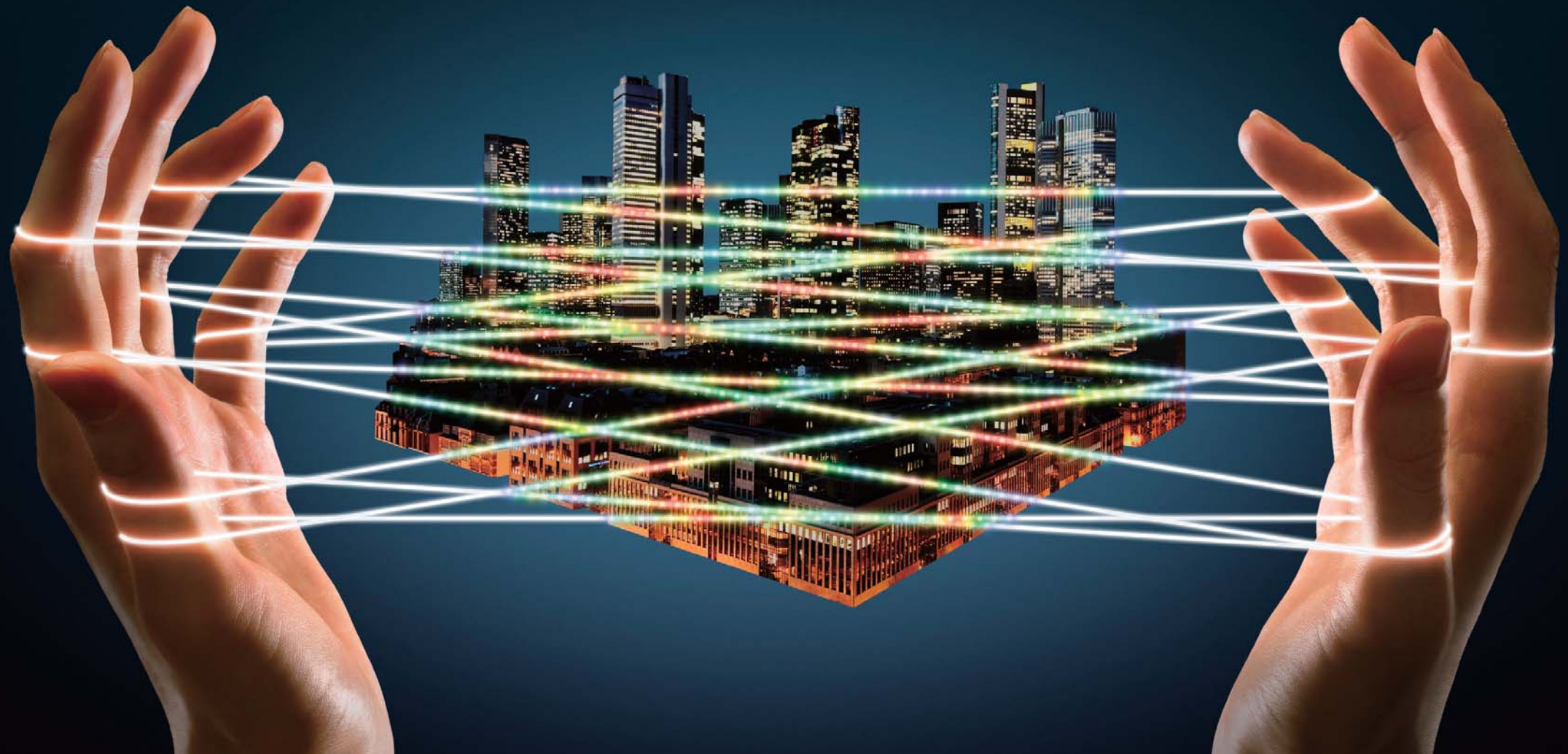
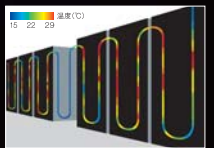




光ファイバー1本で、手にとるように温度がわかる。



ICTシステムの規模や稼働時間がますます拡大し、サーバなど多数の発熱源があるデータセンターの電力消費量は増加の一途をたどっています。この問題を解決するためには、より綿密に効率的に温度を管理・制御しなければなりません。そこで富士通は、1本の光ファイバーで最大1万カ所以上の温度をリアルタイムで正確に測定できる技術を開発。大規模なセンター内の温度分布の常時「見える化」を実現しました。空調システムと連動して温度を自動でコントロールでき、大幅な省エネルギー化を可能に。富士通は独自の温度測定技術で、企業環境の向上とともに地球環境の保全にも貢献していきます。



富士通のリアルタイム超多点温度測定技術

shaping tomorrow with you

夢をかたちに